



新学期準備・学級経営会場

1年間のルールとシステムの仕組みとは



昨年度の参加者からは、講座に参加することで、一年間安定した学級経営ができたという喜びの声を聞くことができました。

二〇一五年三月二十九日(日)
 十時から十二時、高知県立青少年の家にて開催されました。主催は、TOSS高知。後援は、高知県教育委員会、高知市教育委員会、土佐市教育委員会、いの町教育委員会、安芸市教育委員会、香南市教育委員会、南国市教育委員会、高知新聞社・RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KCSさんさんテレビ、KCB高知ケーブルテレビ、エフエム高知、P.O.センタール。知、高知県ボランティア・NPOセクター！。

参加者は、高知県内の小学校の先生や講師、教師を目指す学生など三十名ほどが、新学期的準備をどのようにしたらよいか、新学期最初の三日間のルール作りをどのようにしたらよいか、学びました。TOSS高知は、このように、前の春休み中に開いています。

講座内容と時間	
講座1 子ども全員の名前を出会い前日までに覚えておく	10:00~10:10
初対面の時までに、すべての子どもの名前を覚えていき、名前を言えれば、その瞬間から、子どもの尊敬を集められる。エピソードを交えてその方法を紹介しします。	
講座2 クラスの係・当番などのしぐみをノートに書いておく	10:10~10:20
ノートに学級組織の「設計図」を書く。設計図もなしに「学級の組み立て」をするなどではいけません。	
講座3 授業のルールについてノートに書いておく	10:20~10:30
ルールはぶれてはいけません。学級崩壊は、わずかなぶれから始まります。ノートに書くことで、ぶれることをなくします。	
講座4 最初の3日間で全員の子ども「名前を呼んでほめる」	10:40~10:50
黄金の3日間は、やる気がいっぱい、ほめることはたくさんある。大事な、「全員」ほめることです。目立たない子、問題を抱えている子、特別支援が必要な子も全員ほめよう。	
講座5 各教科の3時間分の授業の流れをノートに書いておく	10:50~11:00
新学期的のノート作りは、春休みにやる。教科毎に作成しておけば、日々の授業が保障されます。	
講座6 最初の2単元を教材研究する	11:00~11:10
国語と算数を中心にした教材で、子どもたちの意欲を高めることが大切です。どのように教材研究を進めたらよいのでしょうか。	
講座7 朝から帰りまでの子どもの動きを書き、子どもに伝える言葉を書く	11:20~11:30
初日の登校から、3日目の下校まで子どもの動きを考えて細案を作成します。子どもに伝える言葉を書き、指導の言葉を同じにする。	
講座8 教室環境のチェックポイントを書き出し、環境を整える	11:30~11:40
教室環境を整えるときのチェックポイントは、どんなことなのでしょうか。	
講座9 教材・教具のリストを作り、教材を注文する	11:40~11:50
1年間使い、保護者からお金をとって集める教材は、優れたものでなければなりません。教材選びのポイントは？	
講座10 QA	11:50~12:00



名前を呼ばれることは、どれほど大事なことなのでしょうか？
 ロールプレイをしながら、「存在を認める」ことの大切さを実感しました。名前を覚えるとこんな良かったことが！



「ルールは、最初に決める。決めたことは、徹底する。そのためには、よく考えて決めること。」
 皆さん熱心にメモしていました。

参加者の声

- ・全くわからないことばかりなので、参考になりました。
- ・基本的なことを振り返る学びができた。新しい発見もあり、勉強になった。
- ・4月から何をしようかが具体的にわかりやすく、本当に勉強になります。
- ・セミナーで習ったことを1年間通せるように今年頑張ってみます。
- ・とても具体的だったので、今日から早速準備にとりかかれそうだと思います。
- ・模擬授業の黄金の3日間を見てみたいと思いました。
- ・黄金の3日間、しっかり準備してはじめての1週間を大事にして、1年間頑張ろうと思いました。ありがとうございました。
- ・一つ一つの講座で納得することばかりでした。4時間たったら忘れる！と言われたので、もう一度見直して、4月から学級経営に生かしたいと思います。まずは、新学期的のノート作りから始めようと思いました。

